

全体	55
個別	13-01

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	教育総務課
----	-------

No.	項目	島っこ留学制度による留学生1名以上を招致する。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>「島っこ留学制度」は、豊かな学びと地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校に入学または転学を希望される児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校並びに地域の活性化と教育の振興・充実を図る事を目的として平成27年11月からスタートした制度です。</p> <p>複式学級の解消にも有効で、去年に引き続き西小学校、豆酏中学校を受入モデル地域として体験留学、広報・啓発事業を実施します。</p> <p>受入体制が未整備のため、2年間実績はありませんでしたが、地元実行委員会の協力をいただき1名以上の留学生を招致をします。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>里親1名を三根地区に確保できました。</p> <p>体験留学の参加者から1名が平成29年9月から留学生となり、平成30年4月から2名の留学生を招致できました。</p> <p>・西小学校 4年男子 1名 ・西部中学校 1年男子 1名 ・西部中学校 2年男子 1名 合計3名</p>	
	3. 評価	○
	<p>・これまで2年間招致ができませんでしたが、平成29年度は3名の留学生招致に成功しました。</p> <p>・体験留学では、6世帯15名の参加者があり、内1名が留学生となりました。</p> <p>・福岡事業説明会に1名の参加者があり、留学生となりました。</p> <p>・事前視察を2世帯受入、両世帯とも留学生となりました。</p> <p>・広報・啓発事業は専門業者と委託契約し、ホームページの開設、チラシ2万枚の作成と配布を実施しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>・里親を確保するため再度募集をかける必要がありますが、非常に困難な状況です。</p> <p>・島っこ寮を整備し、受入体制の充実を図ることが急務となります。</p> <p>・チラシ等紙媒体の広報物に対する反応は全くありませんでした。今後はSNS等インターネットを利用した広報活動に重点をおいて展開する必要があります。</p> <p>・体験留学は、留学の可能性が高い世帯を少数選出し効果を高める必要があります。</p>	

全体	56
個別	13-02

平成29年度 [教育委員会] 目標の成果

課名	学校教育課
----	-------

No.	項 目	ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成																				
	1. 組織目標																					
	【 内 容 】	[対馬の未来を担う人材育成のための教育の推進]																				
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成</td> <td style="width: 50%;">2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成</td> </tr> <tr> <td>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実</td> <td>4. 校種間連携、地域との連携の推進</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. 幼稚園・こども園教育の充実</td> </tr> </table>	1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成	3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	4. 校種間連携、地域との連携の推進	5. 幼稚園・こども園教育の充実															
1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成																					
3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	4. 校種間連携、地域との連携の推進																					
5. 幼稚園・こども園教育の充実																						
	【 指 標 】																					
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成</td> <td style="width: 50%;">(1)主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに関する指導 (2)少人数指導、複式指導の充実</td> </tr> <tr> <td>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成</td> <td>(1)ふるさとを題材にしたり、学習場所にしたりする学習の充実 (2)道徳教科化趣旨の徹底と授業改善の促進</td> </tr> <tr> <td>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実</td> <td>(1)関係機関、S S W及びS Cとの連携及び各種研修の充実 (2)各種実態調査の継続実施と、個に応じた支援策の推進</td> </tr> <tr> <td>4. 校種間連携、地域との連携の推進</td> <td>(1)学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進 (2)連携型中高一貫教育の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. 幼稚園・こども園教育の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(1)特色ある園づくりの推進 (2)比田勝こども園の運営支援</td> </tr> </table>	1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	(1)主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに関する指導 (2)少人数指導、複式指導の充実	2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成	(1)ふるさとを題材にしたり、学習場所にしたりする学習の充実 (2)道徳教科化趣旨の徹底と授業改善の促進	3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	(1)関係機関、S S W及びS Cとの連携及び各種研修の充実 (2)各種実態調査の継続実施と、個に応じた支援策の推進	4. 校種間連携、地域との連携の推進	(1)学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進 (2)連携型中高一貫教育の充実	5. 幼稚園・こども園教育の充実		(1)特色ある園づくりの推進 (2)比田勝こども園の運営支援									
1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	(1)主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりに関する指導 (2)少人数指導、複式指導の充実																					
2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成	(1)ふるさとを題材にしたり、学習場所にしたりする学習の充実 (2)道徳教科化趣旨の徹底と授業改善の促進																					
3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	(1)関係機関、S S W及びS Cとの連携及び各種研修の充実 (2)各種実態調査の継続実施と、個に応じた支援策の推進																					
4. 校種間連携、地域との連携の推進	(1)学校・家庭・地域が一体となった学校づくりの推進 (2)連携型中高一貫教育の充実																					
5. 幼稚園・こども園教育の充実																						
(1)特色ある園づくりの推進 (2)比田勝こども園の運営支援																						
	2. 実績(成果)																					
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成</td> <td style="width: 50%;">(1) 指導法改善研修会を小1回、中2回開催。研究指定校10校の支援を行いました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 学力調査の結果が国や県の平均を上回るなど、改善傾向が見られました。</td> </tr> <tr> <td>2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成</td> <td>(1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 新任校長校等13校を訪問し、道徳の授業参観と指導助言を実施しました。</td> </tr> <tr> <td>3. 生徒指導及び特別支援教育の充実</td> <td>(1) S S Wと4回、分教室の担当者と3回の情報交換会を行いました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 不登校児童生徒の調査を毎月実施しました。状況改善には至っていません。</td> </tr> <tr> <td>4. 校種間連携、地域との連携の推進</td> <td>(1) 地域コーディネーター研修会を、県及び市の生涯学習課と連携して開催しました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 魅力化推進協議会を3回、推進協議会を1回開催しました。</td> </tr> <tr> <td>5. 幼稚園・こども園教育の充実</td> <td>(1) 園長会を5回、各種研修会を6回実施しました。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(2) 1年間のこども園運営の成果や課題を整理し、管理規則を作成しました。</td> </tr> </table>	1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	(1) 指導法改善研修会を小1回、中2回開催。研究指定校10校の支援を行いました。		(2) 学力調査の結果が国や県の平均を上回るなど、改善傾向が見られました。	2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成	(1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。		(2) 新任校長校等13校を訪問し、道徳の授業参観と指導助言を実施しました。	3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	(1) S S Wと4回、分教室の担当者と3回の情報交換会を行いました。		(2) 不登校児童生徒の調査を毎月実施しました。状況改善には至っていません。	4. 校種間連携、地域との連携の推進	(1) 地域コーディネーター研修会を、県及び市の生涯学習課と連携して開催しました。		(2) 魅力化推進協議会を3回、推進協議会を1回開催しました。	5. 幼稚園・こども園教育の充実	(1) 園長会を5回、各種研修会を6回実施しました。		(2) 1年間のこども園運営の成果や課題を整理し、管理規則を作成しました。
1. 確かな学力を身に付けた児童生徒の育成	(1) 指導法改善研修会を小1回、中2回開催。研究指定校10校の支援を行いました。																					
	(2) 学力調査の結果が国や県の平均を上回るなど、改善傾向が見られました。																					
2. 心豊かでたくましく、郷土を愛する児童生徒の育成	(1) 全ての学校において、ふるさと学習全体計画を作成しました。																					
	(2) 新任校長校等13校を訪問し、道徳の授業参観と指導助言を実施しました。																					
3. 生徒指導及び特別支援教育の充実	(1) S S Wと4回、分教室の担当者と3回の情報交換会を行いました。																					
	(2) 不登校児童生徒の調査を毎月実施しました。状況改善には至っていません。																					
4. 校種間連携、地域との連携の推進	(1) 地域コーディネーター研修会を、県及び市の生涯学習課と連携して開催しました。																					
	(2) 魅力化推進協議会を3回、推進協議会を1回開催しました。																					
5. 幼稚園・こども園教育の充実	(1) 園長会を5回、各種研修会を6回実施しました。																					
	(2) 1年間のこども園運営の成果や課題を整理し、管理規則を作成しました。																					
	3. 評 価	○																				
		<p>各種研修会や学校訪問、研究指定校事業などを計画通りに実施し、教職員への指導や助言を通して、目標の実現に努めることができました。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。</td> <td style="width: 50%;">(2) 10年経験者研修や学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。</td> </tr> </table>	(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。	(2) 10年経験者研修や学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。																		
(1) 確かな学力の定着に向けて、指導法改善研修会や複式指導法研修会等の各種研修会を実施して教職員の指導力向上に努めることができました。	(2) 10年経験者研修や学校訪問等の際に、道徳の授業参観や授業づくりの指導を行い、道徳教育の充実につなげることができました。																					
	4. 今後の展開																					
		<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(1) ふるさと学習を充実させるために、各学校の全体計画や学習内容を整理して紹介するなどして、学校間連携を促します。</td> <td style="width: 50%;">(2) I C T機器の効果的かつ積極的な活用を促すため、教職員を対象とする研修の充実に努めます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3) 不登校及びその傾向がある児童生徒を支援するため、フリースペース「みちしるべ」の活動を支援するとともに、今後の在り方について検討します。</td> </tr> </table>	(1) ふるさと学習を充実させるために、各学校の全体計画や学習内容を整理して紹介するなどして、学校間連携を促します。	(2) I C T機器の効果的かつ積極的な活用を促すため、教職員を対象とする研修の充実に努めます。	(3) 不登校及びその傾向がある児童生徒を支援するため、フリースペース「みちしるべ」の活動を支援するとともに、今後の在り方について検討します。																	
(1) ふるさと学習を充実させるために、各学校の全体計画や学習内容を整理して紹介するなどして、学校間連携を促します。	(2) I C T機器の効果的かつ積極的な活用を促すため、教職員を対象とする研修の充実に努めます。																					
(3) 不登校及びその傾向がある児童生徒を支援するため、フリースペース「みちしるべ」の活動を支援するとともに、今後の在り方について検討します。																						

全体	57
個別	13-03

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	生涯学習課
----	-------

No.	項 目	地域の特性を生かした生涯学習の推進
	1. 組織目標	<p>【内容】</p> <p>○対馬ならではの「しま」体験活動の実践による地域教育力の向上支援</p> <p>平成29年7月～8月の間において、長崎県内の離島（対馬、壱岐、五島）3地区で「しまの魅力に出会う交流支援事業」が開催されます。</p> <p>本市では、7月25日～28日までの4日間、「対馬で しま大作戦」と題して夏休みの思い出づくり事業を実施します。</p> <p>「しま」の人々や参加者同士の交流を深めるとともにシーカヤックやツシマヤマネコ（自然）特有な文化、そして対馬の真珠体験等をプログラムに組み込み、対馬の魅力を再認識し、実行委員会を中心として、地域教育力の向上と島の活性化の支援を目指します。</p>
	2. 実績（成果）	<p>○ 子どもコース</p> <p>○ 参加者（小学4年～中学3年） 島外：40名 市内：15名</p> <p>○ 大学生・高校生・教職員ボランティア 15名</p> <p>○ 平成29年7月25日から平成29年7月28日まで（3泊4日）</p> <p>対馬の自然体験、産業体験、協力活動体験を、バランス良く盛り込んだプログラム内容で、参加者にとって楽しい、また、思い出に残る体験になったと思われま。</p>
	3. 評価	<p style="text-align: center;">○</p> <p>参加者への事前、事後について、文書や感想文等を通してフォローができました。</p> <p>このような子どもたちへ向けての事業の継続や、参加する高校生スタッフの貴重な経験などが今後も続けられると良い、という意見でまとまりました。</p>
	4. 今後の展開	<p>対馬を再発見し、人、自然、文化のすばらしい対馬に興味をもってもらい、再度対馬に行きたいと思われる体験を目指します。</p>

全体	58
個別	13-04

平成29年度 [教育委員会事務局] 目標の成果

課名	文化財課
----	------

No.	項目	文化財の保存・活用を図ります。
	1. 組織目標	
	<p>【内容】</p> <p>① 指定文化財の保存整備を継続して実施します。</p> <p>② 「金田城築造1350年記念事業」を開催します。</p> <p>【指標】</p> <p>① 国指定史跡3箇所、県指定史跡1箇所の整備に継続して取り組みます。</p> <p>② 金田城が築造されてから、今年で1350年の節目の年となります。各種イベントを展開し、市内外へ向け情報の発信に努め、貴重な文化財を守り残し伝えることにつなげていきます。</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>① ほぼ計画どおり、保存整備工事を実施しました。</p> <p>② 金田城が築造されてから1350年を記念した各種イベントを開催し、市内外へ向けての情報発信に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田城フォトコンテスト（応募者：18名 46作品） ・シーカヤックイベント（33名参加） ・古代史、古代山城リレー講座（3回開催、合計140名参加） ・金田城クイズラリー（60名参加） 	
	3. 評価	○
	<p>① 史跡整備については、計画どおり実施することができました。</p> <p>② いずれのイベントも参加者は市内の方が多かったものの、市外からの応募者、参加者もあり、市内外へ向け十分情報発信を行うことができました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>① 史跡整備については、今後も事業を継続し、利用者の利便性の向上を図りながら、有効活用を目指していきます。</p> <p>② 金田城跡への来訪者は年々増えてきておりますが、平成29年4月に「続・日本の100名城」に選ばれ、更に来訪者が増えてきております。また、平成30年度に第1期整備事業を終え、数年後に第2期整備事業に着手することとしており、今後も金田城跡の特徴を活かした整備を行うことで文化遺産としての価値を顕在化し、遺構の保存・活用、交流人口の拡大に努めていきます。</p>	